

# ろうさい ニュース

令和4年

10月号

第458号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。



ピンクリボン運動のライトアップ風景

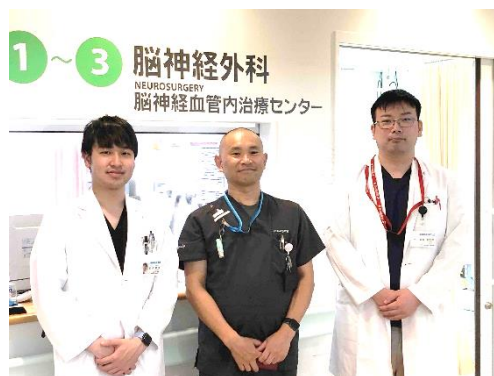
## 診療科の紹介

## 脳神経外科

脳神経外科部長 竹中 俊介

脳神経外科の竹中と申します。今回は、当院の脳神経外科について紹介させていただきます。

脳神経外科というと、脳を手術する外科というイメージがありますが、実際は頭痛やめまいなどの外来診療や救急医療、脳梗塞などの内科治療など非常に幅広い領域を診療しています。もちろん脳腫瘍や脳血管障害などの外科治療、カテーテルによる血管内治療に関しても積極的に治療を行っています。



左から松田医師、竹中部長、田口医師



\*頭蓋骨の中にある脳の外観です。左側面から見た図です。

## 外来診療

頭痛やめまい・ふらつきなどの内科的な疾患に対して、頭部CTやMRI検査などを行い脳腫瘍などの頭蓋内の怖い病気が隠れていないかを調べていきます。特に頭痛に関しては、肩こりや疲れが原因である筋緊張性頭痛だけでなく、若年女性に多い片頭痛診療も行っています。近年、片頭痛に対する新薬が我が国でも処方できるようになり、当院でも処方することができます。身近な方で片頭痛に悩んでいる方がみえましたら当科外来を受診していただければ対応します。

突然の歩行障害や半身の運動障害・しびれなどは脳卒中（脳梗塞や脳出血）を来した可能性があり、精査し必要であれば入院治療を開始します。脳卒中に関しては救急医療にあたりますので、できれば外来でなく、119番による救急要請をお願いします。

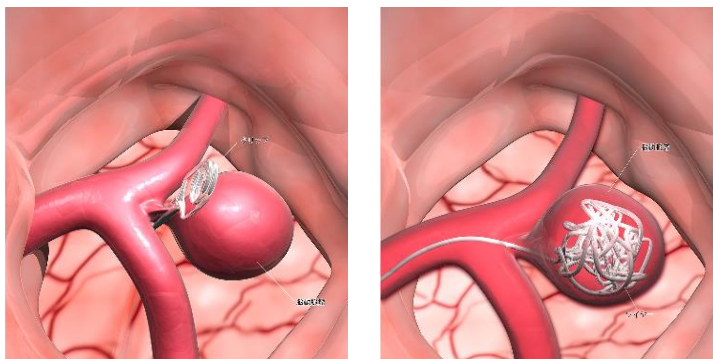
また、保険外診療になりますが、当院の脳ドックは、MRIを施行後、脳神経外科による結果説明を行っています。元気な方の中にもクモ膜下出血の原因となるような脳動脈瘤や、脳腫瘍などが隠れていないか検査し、病変があるようでしたら病変の説明、精密検査・治療をするべきかどうかなど説明しています。

## 救急医療

我々が対応する病気の多くが救急疾患です。特に脳卒中は、脳血管障害とも言いますが脳を栄養する血管が詰まったり、切れたりして発症する病気です。当院はPrimary Stroke Centerに認定されていますので、24時間・365日救急受け入れできるような体制を整えています。しかし、現実には緊急手術や、Covid-19の流行、病院の満床などで救急要請をお断りすることもあります。可能な限り断らない脳神経外科救急を目指しています。

脳卒中には、①脳の血管が詰まり発症する脳梗塞、②細い血管が切れて発症する脳内出血、③脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血があります。当院の脳神経外科の強みですが、カテーテルによる血管内治療と、手術室での開頭術のどちらにも対応できます。各症例でどちらの方法が患者様にとって良い選択かを十分に検討し治療を行っています。脳梗塞に関しては、近年治療が劇的に変わってきています。発症4.5時間以内であれば、t-PAという血栓溶解薬を点滴治療することで脳梗塞を回避できる可能性もありますし、太い脳血管が閉塞した場合は、カテーテルによる血栓回収術を行い重い症状を劇的に改善させることも可能な時代になってきました。このような脳卒中治療を常にできる診療体制を我々は整えています。

脳神経外科の救急診療は、他に頭部外傷やてんかん発作（痙攣）などがあります。近年、高齢化に伴い、高齢者の頭部外傷が増加し救急搬送率が増加してきています。また、てんかん発作も内科的治療が主体なのですが、中枢の評価が必要なため、当院では脳神経外科が対応しているのが現状です。



\*脳動脈瘤治療；左図は開頭によるクリッピング術。右図はカテーテルによるコイル塞栓術。

## 手術

脳神経外科の手術は非常に多岐にわたります。主なものとしては、脳腫瘍の手術、脳の血管の手術、外傷の手術などがあります。当院では脊椎や末梢神経障害の手術には対応していません。

脳腫瘍に関しては、良性腫瘍であれば手術だけで治療できますが悪性腫瘍であれば術後の放射線治療や抗がん剤による化学療法も必要になってきます。脳腫瘍の手術は顕微鏡を用いて行いますが、正常脳との境界が不明瞭な病変に対しては、ナビゲーションという機械を用いてより安全で正確な手術を行っています。また、症例によっては小さな開頭で行う内視鏡手術も導入しています。

脳血管の手術は、脳動脈瘤クリッピング術や、バイパス手術、頸動脈内膜剥離術など脳卒中に関連した手術です。当院はPrimary Stroke Centerであり、緊急手術にも対応しています。また、片側顔面けいれんや三叉神経痛に対して神経を圧迫している血管を解除するような手術もあります。

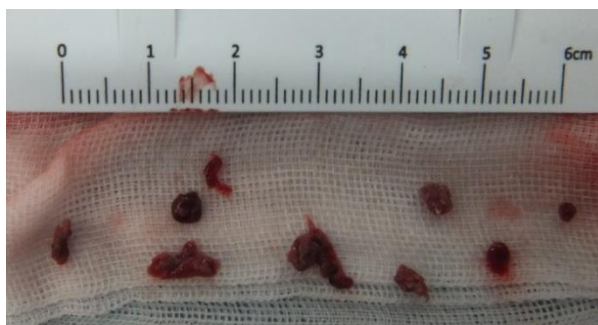
外傷の手術はシートベルトの義務化や飲酒運転に対する法整備で昔ほど重症の手術は減ってきていますが、重症頭部外傷の手術は生死にかかわりますので、こちらも緊急手術に対応します。また、軽微な頭部外傷の数週後に発症する慢性硬膜下血腫に対しては、3cmほどの皮膚切開で行う穿頭ドレナージ術を行います。



\* 顕微鏡の映像を大画面に表示し手術しています。

## 脳血管内治療

脳の血管の病気をカテーテルという細い管を血管の中に挿入して血管の中から治療することです。すでに心臓の領域では循環器内科による血管内治療が発展し、心筋梗塞などの冠動脈疾患をカテーテルを用いて治療することは標準化されています。脳の血管は心臓と比べ脆いため治療の歴史は後れをとっていますが、2000年代に入り急速に発展してきました。特にクモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤などの治療は、当院でも開頭術よりもカテーテルを用いたコイル塞栓術の割合が増えてきています。また、脳の太い血管が血栓（血の塊）で急に閉塞した症例に関しては、カテーテルを用いて血栓を回収する治療が近年可能となり、寝たきりになるような大きな脳梗塞を回避できるようになりました。当院でも適応となる患者さんには、救急外来からカテーテル室に速やかに移動し治療を開始できる体制にあります。



\*図のような血栓が脳血管に詰まっていた。血栓をカテーテルを用いて回収し、脳の血流を再開させた。



\*2021年4月から導入された最新の脳血管撮影装置 (Philips Azurion7)

今回の紹介で、我々の診療内容をすべて紹介できたわけではありませんが非常に広範囲な領域を我々は対象としています。中枢の脳を扱っている責任を常に自覚し皆様の健康に貢献できるように励んでいます。今後とも当院の脳神経外科をよろしくお願い申し上げます。

### 第52回浜松EAST医療連携セミナーを開催いたしました。

- 日 時 2022年9月21日(水) 19:30～
- 特別講演 座長：浜松ろうさい病院 総合内科部長 岩本 達治  
演者：磐田市立総合病院 腎臓内科部長 深澤 洋敬 先生  
「尿酸代謝と高尿酸血症～疾患との関わりと治療戦略～」

多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

### 第53回浜松EAST医療連携セミナーを開催いたします。

- 日 時 2022年11月16日(水) 19:30～20:50
- 場 所 浜松ろうさい病院 6階 大会議室
- 特別講演 19:40～20:40  
座長：浜松ろうさい病院 整形外科 河本 正昭  
演者：浜松ろうさい病院 整形外科部長 中山 憲  
「骨粗鬆症の最適解を考える～治療法の変遷と逐次療法～」

集合視聴及び個人Web視聴のハイブリッド形式で開催いたします。  
会場での参加を希望される方は、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、地域医療連携室へFAXでお申込みください。

独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室  
受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315  
紹介患者の予約受付 月～金 8:15～18:00 土 9:00～12:00

